

幕山



MAKUYAMA

■幕山へのアクセス



発行者：(株)湯河原総合情報センター

所在地：神奈川県足柄下郡湯河原町宮下661

TEL：0465-63-5599

URL：http://yugawara.ecnet.jp/

E-mai：yujou@yugawara.ecnet.jp

監 修：室伏友三

作成協力：湯河原自然ガイド



(株)湯河原総合情報センターの
ホームページはこちらから

湯河原・ジオサイト「幕山」

「幕山」の標高は 626m あり、周辺は富士箱根伊豆国立公園、県立自然公園。近年は、箱根ジオパークの「ジオサイト」として一躍注目を集めており、「溶岩ドーム」が形成された過程でできた、ダイナミックな「柱状節理」が特徴。幕山の麓には、箱根外輪山の南側斜面の豊かな森林を水源として「新公園」周辺の斜面地に植えられた約 4,000 本の梅林は、早春になると白とピンクの花が咲き誇ります。また「幕岩」の名称でロッククライミングの名所としても有名です。このマップを片手に、「幕山」の自然の魅力を五感で感じながら楽しんでください。



■幕山火山

幕山は、湯河原でも特異的な山様している火山です。

幕山火山は、私達が普通に考える火山とはやや趣を異にし頂上へ行っても火口が見られません。

それは、山全体が地中から盛り上がってきたからです。

幕山の溶岩は、ねばりけが強く普通言われる溶岩の様に流れ出ることはなかったと考えられ、地中から盛り上がり、長い時間の中で固まったと考えられています。

湯河原・ジオサイト「幕山」

「幕山」の標高は 626m あり、周辺は富士箱根伊豆国立公園、県立奥湯河原自然公園に隣接し、生物多様性のとても豊かな地域です。近年は、箱根ジオパークの「ジオサイト」として一躍注目を集めており、登山道入り口付近の壁面には、一連の箱根火山の歴史を物語る「溶岩ドーム」が形成された過程でできた、ダイナミックな「柱状節理（ちゅうじょうせつり）」を見ることができます。

幕山の麓には、箱根外輪山の南側斜面の豊かな森林を水源として「新崎川」が流れ、豊富な養分を多く含んだ水は、相模湾に注ぎます。公園周辺の斜面地に植えられた約 4,000 本の梅林は、早春になると多くの観光客で賑わいます。

また「幕岩」の名称でロッククライミングの名所としても有名です。

このマップを片手に、「幕山」の自然の魅力を五感で感じながら楽しんでください。



■幕山火山

幕山は、湯河原でも特異的な山様している火山です。

幕山火山は、私達が普通に考える火山とはやや趣を異にし頂上へ行っても火口が見られません。

それは、山全体が地中から盛り上がってきたからです。

幕山の溶岩は、ねばりけが強く普通言われる溶岩の様に流れ出ることはなかったと考えられ、地中から盛り上がり、長い時間の中で固まったと考えられています。

幕山に特有な露頭は、“柱状節理”（ちゅうじょうせつり）です。

柱状節理は、溶岩が地表や地表近くにあるときに、大冷やされて“節理”という“亀裂”ができ、それが“柱”に見えるため柱状節理と呼ばれています。

また中心に存在する柱状節理とは別に周囲には多くの“板状節理”（ばんじょうせつり）も見られます。

幕山は、昭和新山や雲仙普賢岳と同じタイプの火山です。

立奥湯河原自然公園に隣接し、生物多様性のとても豊かな地区です。
おり、登山道入り口付近の壁面には、一連の箱根火山活動の終期に
節理(ちゅうじょうせつり)」を見ることができます。
新崎川」が流れ、豊富な養分を多く含んだ水は、相模灘に注ぎ込まれます。
と多くの観光客で賑わいます。

んでください。



幕山に特有な露頭は、“柱状節理”(ちゅうじょうせつり)に代表されるでしょう。
柱状節理は、溶岩が地表や地表近くにあるときに、大気と地表の低い温度で
冷やされて“節理”という“亀裂”ができ、それが“柱状”(はしらじょう)に
見られるため柱状節理と呼ばれています。
また中心に存在する柱状節理とは別に周囲には多くの“板状”(いたじょう)
になった“板状節理”(ばんじょうせつり)も見ることができます。
幕山は、昭和新山や雲仙普賢岳と同じタイプの火山でもあります。



安山岩

幕山を構成する代表的な岩石で、地表近く
で急激に冷やされてできた「火山岩」に分類
されます。周辺では、根府川の根府川石
と真鶴で産出する新小松石などがその代表
です。熱にも強く、加工されて街中でも建
築材として見られます。



柱状節理

A

溶岩流が地表近くで大気と低い地表温度に
より急激に冷やされて柱状の亀裂ができた
産状を言います。



板状節理

B

柱状節理同様に産出されるがその形が、
板状である事が特徴です。

幕山ハイキングトレイル

正面に幕山を仰ぎ見ながらスタートし、新崎川沿いに湯河原梅林のわきを通り、大石ヶ平の分岐、さらに自鑑水の分岐を経て幕山山頂へ。途中のスギ、ヒノキ林の木々の間に真鶴半島を見ることができます。

頂上へ到着すると相模灘が一望でき、幕山が湯河原火山の中で独立峰のようにも感じられるところでもあります。

四季の野鳥

多様な自然環境に恵まれ、新崎川には、カワセミ、カワガラス、ヤマセミといった水辺に特に依存する種が見られる。梅の植栽林や落葉広葉樹林ではウグイス、メジロ、ホオジロなどの小鳥類が多く観察され、スギ、ヒノキの混合植栽林ではヤマドリなども見ることができる。

また幕山上空やその周辺の林では、ノスリやオオタカの姿を見ることもまれではない。このように自然界の中の食物連鎖の頂点にいるものから裾野を形成しているものまで、四季折々日本で観察される鳥種640種のうち20%以上が観察することができる。



ヤマドリ
キジ科
学名: *phasianus soemmerringii*
暗いスギ、ヒノキ林を好み
明るい林の中へ出てくることは
あまり多くなく、時折周辺の林道を
横切る姿を見ることができる。



スギ
ヒノキ科
学名: *Cryptomeria japonica*
常緑針葉樹で人工林を形成する
代表種。国産県産材として
建築用材への利用を推進している。



ノスリ
タカ科
学名: *Buteo buteo*
中型のタカの仲間、
広い草原などで小型の
哺乳動物などを捕食する。
幕山の上空には四季を
通して見ることができる。



サンショウバラ
学名: *Rosa hirtula*
バラ科
湯河原では、幕山の頂上付
近のみ見ることができる。
数も少なく今後の保護育成
が検討されなくてはならな
い。盗掘が横行しているこ
とも深刻な問題。



アオバト
ハト科
学名: *Sphenurus sieboldii*
森林性のハト、名前の通り
体全体が明るい緑色をしている。
鳴き声も「オーアオ オー」
などと聞こえ果物をよく食べる。



ヒメシャラ
学名: *Stuartia monadelph*
ツバキ科
樹皮が赤く独特の色合いをして
いる。特に冬の混合林の書かにおいて
は、その肌の赤色が一層目立つ。
花は、白く椿の花のよう。



マメザクラ
学名: *Prunus incisa* Thunberg
バラ科
低木～小高木。日本固有種。
フォッサマグナ要素の植物。
下向きに可憐な花を咲かす。



アオスジアゲハ
学名: *Graphis sarpa*
アゲハチョウ科
初夏から初秋。幼虫は
キ科の葉を食べる。



城山
563.6m

多様性に富んだ動植物

新崎川の川べりには葦の群落があり、その中の餌になる水生昆虫がいて、周辺の人工林にはヤマドリ、混合林にシヤテン、タヌキが見られる。またサンショウバラも見ることができ、ある。このような環境の中、植物する湯河原火山が楽しめるところ

ミソサザ
学名:Troglodactylus
ミソサザイ
早春に一
林の中の
だす日本

ヤマト
学名:A
キンボ
花は10
が目を
大石ケ



多様性に富んだ動植物

新崎川の川べりには葦の群落が広がり、水中には冷水性のタカハヤやヤマメなどとそれらの餌になる水生昆虫がいて、これを捕食するカワセミやカワガラスなどが見られる。周辺の人工林にはヤマドリ、混合林にはアオバト、ハコネダケの群落とその周辺にはイノシシやテン、タヌキが見られる。また、頂上付近にいたるあたりにはヒメシャラが点在し、サンショウバラも見ることができる。そして時折ノスリの優雅な飛翔も観察されることがある。このような環境の中、植物、動物、そして地質学的にもユニークな幕山を中心とする湯河原火山が楽しめるところでもある。



ハコネダケ
学名: *Pleioblastus chinensis*
イネ科
大石ヶ平～山頂間にトンネル状の区間があり、群落をつくっている。

自鑑水

分岐(自鑑水)

幕山 600m
南郷山 1200m
大石ヶ平 1200m

ヤトで
がえる

五郎神社 4500m
湯河原梅林 3500m

白銀林道出合

湯河原
カンツリークラブ
ゴルフ場

竹林

大石が
かかれた道

クックライミング
レンデ

コースタイム

幕山登山口	60分	幕山山頂	80分	大石ヶ平	15分	一の瀬	10分	幕山登山口	5分	幕山公園	バス10分 徒歩60分	湯河原駅
	→	70分	→	70分	→	15分	→	10分	→	5分		

※時間はペースにより異なります。

ミソサザイ
学名: *Troglodytes troglodytes*
ミソサザイ科
早春に一番早く新崎川周辺や林の中の倒木などの上にとまって囀りだす日本でも最小の味増色をした鳥。

ヤマトリカブト
学名: *Aconitum japonicum* Thumb.
キンボウゲ科
花は10月前後。花の特異な形が目立ち、有毒なのは有名。大石ヶ平～山頂間。

ヤマザクラ
学名: *Cerasus jamasakura* Barak.
バラ科
日本の野生の桜の代表種。花と葉が同時期に展開する。

ショウビタキ
学名: *Phoenicurus aureus* Pallas
ツグミ科
冬鳥としてロシアから渡ってくる。「ヒックク ヒッ ヒッ」と特徴ある地鳴きをしながら梅林に多く観察される。

キジ
学名: *Phasianus versicolor* Kizil.
キジ科
日本の国鳥。春になるとオスが「ケッケーン」と大きな声で鳴きあい自分の縄張りをもとめて活発に移動している姿が特に草原や林縁で見ることができる。

ツリガネニンジン
学名: *Adenophora triphylla* var. *japonica* Kikyo.
キキョウ科
多年草。ふつう輪生する。

注意事項

- ・ごみは持ち帰りましょう。
- ・花や生き物は持ち帰らず大切にしましょう。
- ・ルートから外れて森の中に立ち入らないようにしましょう。
- ・10月～11月のスズメバチには気をつけましょう。

※緊急時の連絡先
湯河原町消防本部 TEL:0465-60-0119

Thumb.
有種。
植物。
失せる。

carpedon
虫はクスノ

ナミアゲハ
学名: *Papilio xuthus*
アゲハチョウ科
通称アゲハ。初夏から初秋。幼虫はミカン科の葉を食べる。

モンキアゲハ
学名: *Papilio helenus*
アゲハチョウ科
初夏から初秋。大型で、後翅に白い斑紋が特徴。

至 湯河原駅